



年間聖句

「平和を造る人々は幸いである。」
マタイによる福音書5章9節（聖書協会共同訳）



「瓦礫の上のイエス」



にわ かずこ
日本基督教団牧師 丹羽 和子 さん

今から16年前、2008年のクリスマスシーズンも、イスラエルとパレスチナ自治区の間が、今年ほどではなかったのですが不穏な状況にあったため、イスラエルへの観光目的の渡航が制限されていました。ところが幸運なことに、全国の超教派の牧師10名が参加するイスラエル旅行に加わることができました。考えられないほど人気のないテルアビブの空港からスタートし、静かなガリラヤ湖を小舟で渡るなどしてイエス様の足跡をたどることができました。

その旅の中で印象的だったのは、イエス様の生誕の地ベツレヘムでした。ベツレヘムの町はパレスチナ自治区に属しているため、イスラエルから入るには厳しい検問があり、銃を肩に担いだ数人の兵士が厳しい顔をして整列し、監視カメラがにらみを利かせた長い通路を抜けなければなりません。ドキドキしながら、ようやくベツレヘムの町に足を踏み入れた途端、え！と感じるほど、その町は、それまで歩いてきたイスラエルの町とは違っていたのです。ベツレヘムの町が貧しさや寂しさが漂う暗い雰囲気包まれていたことが、今でも鮮明に思い出されます。

案内してくれた人が「厳しい検問に驚かれたでしょうが、私たちは毎日あの検問を通してイスラエルの町に働きに行っていますし、そこには友達もたくさんいます。クリスマスには世界中の人たちがここに集まってくれます」とうれしそうに話してくれました。あの彼は、今年はどうしているのでしょうか？

そのように、今でも寂しく貧しいと感じられる町ベツレヘムに、イエス様はお生まれになったのです。お生まれになったとされる洞窟は地下になっていて、その上には星形の飾りが施されたガラス板がはめられ、上からのぞき込めるようになっていました。そして、その上に建てられた聖誕教会の入口には、馬小屋でのお誕生の場面が等身大の人形によって表されていました。

2009年にはイスラエル軍の侵攻が続き、民間人の犠牲が日々増え続けているため、ベツレヘムでのお祝いのクリスマス行事がすべて中止になったということでした。その後その種火は消えることなく、2022年の10月から、そして2023年に

は大きな憎しみの炎として燃え上がってしまっているのです。2022年のベツレヘムの教会では、馬小屋でのお誕生の喜びの場面の再現が「瓦礫の上のイエス」という悲しみの展示に様変わりしているということでした。

馬小屋も瓦礫の上も、赤ちゃんが寝かされるにはまったくふさわしくない場所です。でも現実には、絶望を象徴するような瓦礫の中で赤ちゃんが生まれ、多くの命が消えているのです。それが悲しい現実です。だからこそ、その現実を見据えて、神の子イエス様は馬小屋という、幼子がお生まれになるにはまったくふさわしくない場所にお生まれくださったのでしょうか。

聖書は告げています。「マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。（中略）見よ。おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。この名は『神は我々と共におられる』という意味である。」（マタイによる福音書1章21節）

世界中のクリスマスが、神の子救い主誕生という希望の光に包まれ、穏やかな喜びの中で祝われますように祈りいたします。



一般財団法人 日本宝くじ協会様より助成金の交付を受けて、神戸YMCA各法人に集会用テントをご寄贈いただきました。

このテントは全国のキャンプ場や幼稚園・保育園などで使用し、青少年育成活動のほか、バザーや運動会などの地域行事、災害時の支援活動などに用います。感謝してご報告申し上げます。

詳細は日本宝くじ協会HP (<https://jla-takarakuji.or.jp/>)にある助成事業紹介をご覧ください。



新年を迎えるにあたり

総主事 井上 真二

神戸YMCA VISION2030

2025年1月17日で阪神・淡路大震災から30年。世界YMCAの行動指針である「ビジョン2030」の4本柱の一つにSustainable Planet(持続可能な地球のために)がありますが、私たちを取り巻く世界は気候変動や戦争やエネルギー問題、防災や減災、予想以上の少子化など、課題が山積みです。

そのような中、2025年度は神戸YMCA VISION2030の「私たちの使命」、「私たちの願い」、そして「使命実現のための柱」を基に策定した3ヵ年計画の3年目となります。2025年も、神戸YMCAのすべての活動がポジティブネットを広げ、希望ある豊かな社会を創ることを目指していきますので、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



<私たちの使命>

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

<私たちの願い>

私たちは、世代を超えた人々が会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。

<使命実現のための柱>

- ◆未来を創る子どもたちの育ちを支えます。
- ◆若者の繋がりと関わりを拡げるプラットフォームの場をともに創ります。
- ◆ポジティブネットのある豊かな社会を目指します。
- ◆未来の社会への責任を担います。

ウェルネス業界セミナー

ファミリーウェルネスセンター

8月と9月に、大学生を対象とした「ウェルネス業界セミナー」を実施しました。主に3回生が参加され、「ウェルネス」という生き方に関する議論を交わしました。私たちを取り巻く環境が、身体的、精神的、社会的な側面から個人にどのような影響を与えているか、また、ヘルス、フィットネス、ウェルネスという健康観の変遷とその社会的背景などを共に学びました。

さらに、参加者の皆さんと今の自分のウェルネス度チェックを行いました。ウェルネスという生き方の実践を6つの領域で捉えて、レーダーチャート化する実習です。自分自身への興味が高まった学生もいれば、他の学生の結果が気になる学生もありました。結果をもとにしたフィードバックの場を設けて、さらに議論を深める機会となりました。

YMCAは、自分の人生を主体的に楽しむ人々と伴走しています。また、その伴走者(指導者)を育成することもウェルネスの大切な働きです。セミナーは1月、2月にも実施します。学生の皆さま、お待ちしております。



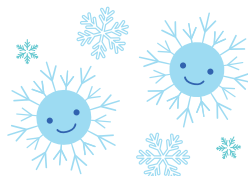
学院祭 つながる時

神戸YMCA高等学院

10月19日(土)に西神戸YMCA学園都市会館で「ワイワイまつり」が開催され、高等学院も学院祭として参加しました。今年は雨が降っているにもかかわらず、地域のこどもたちから高齢者までたくさんの人に足を運んでいただき、出会いと交流のにぎやかな一日になりました。

高等学院はハンドゴルフ、ストラックアウト、わなげに射的と、ゲームコーナーを出店。小さなこどもたちだけでなく、小学生から大人の方まで楽しんでもらえるように、射的の銃を打ちやすく改良したり、難易度の高いストラックアウトを用意したり。景品に手作りのぬりえや折り紙を用意するなど、各学年で工夫を凝らして準備しました。また、大勢の卒業生たちも訪れ、近況を知らせに来てくれたり、高校時代の懐かしい思い出話に花を咲かせたりしていました。

多様な人々が集う西神戸YMCAだからこそ得られる手ごたえ、連帯感があります。この小さな社会の中で知識や経験を積み、次の道へと歩み出す生徒たちをこれからも応援しています！



こくさいのまど

能登半島水害ボランティア活動

2024年1月1日に発生した能登半島地震からもうすぐ1年になります。被災地の復興がなかなか進まない中、線状降水帯による記録的な大雨によって9月下旬に引き起こされた水害は、心が締め付けられる出来事でした。

震災当時、能登半島内にYMCAのつながりはありませんでしたが、東京YMCAと富山YMCAが輪島市町野町の避難所を運営させていただいたことにより、地域住民とのネットワークが生まれました。9月に水害が起きたときは被害を受けた方々の顔がすぐに思い浮かび、全国のYMCAからボランティ

アを募りながら現地で活動を行いました。神戸YMCAからも2人のボランティアを派遣いたしました。

皆さまからご支援いただきました能登半島地震緊急支援募金、能登半島豪雨緊急支援募金はこれらの活動に用いられております。多くの方々にご支援いただけましたことを感謝申し上げます。

2025年1月17日には阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えます。日本に限らず世界各国で自然災害が起きています。今私たちができること、これから私たちがすべきことをYMCA会員の皆さまと一緒に考えていきたいです。



R E P O R T

西宮YMCA保育園

共に祈る、育ちあう

日暮れの早さを感じる頃から、保育園では、クリスマスに向けて園児の歌声が園舎に響き渡るようになります。

おうちの方を迎えて行うクリスマスの活動は、おうちの方だけでなく、職員も、そしてなにより園児自身も、共に成長の喜びを感じ祝う大切な時間になっています。

特に5歳児が行うイエスキリストの生誕劇は「本当のクリスマスの意味をみんなに伝える」ことを願って、保育園のみんなで準備をしています。クリスマスは単

にプレゼントがもらえるうれしい日というわけではないこと。クリスマスを通して、苦しみの中でも、共にいて救いが与えられる存在、希望が与えられているということ伝える日だと、こどもたちと話し合って準備をしています。

人災・天災など大きな災害や、居場所や生きがいを見落とすような心の問題など、生きづらさが多い社会でも、希望を感じて歩める「生きる力」を育む場であり続けられるよう、保育を行っています。



神戸市立たかとり児童館

保育所・児童館交流プログラム「保育体験」

たかとり児童館では、夏休み期間中、1階にある公立のたかとり保育所で、小学生による“保育体験”を実施しました。保育所のクラスに入り、一緒に過ごすという取り組みです。小学生は、こどもたちから「一緒に遊ぼう」「絵本を読んで」などとお願ひされたり、先生からは「ありがとう」と声を掛けられたりします。様子を見てみると、ちょっぴり照れながらもうれしそうな表情をしていました。

保育体験に参加したこどもたちのアンケートには「おねえちゃんあそぼう、おねえちゃんまたきてねとわれてうれしかった」「将来は保育園の先生になり

たい」と書かれていました。また、保育所の先生たちからも「交流できてよかった」「今後も続けていきたい」と感想をいただきました。こどもたちにとって、この体験が“みつかる、つながる、よくなっていく”の一つになったように感じました。

保育所と児童館の交流は今後も続けます。お互いが顔や名前を知っている関係になり、保育所のお友達が小学校に入学し児童館を利用する際に、不安よりも楽しみが大きくなればいいなと願っています。



YYYフォーラム報告

「市ヶ原わいわいわいハイキング」に参加して

残暑がまだ厳しい9月後半の土曜日、第3回「市ヶ原わいわいわいハイキング」に参加しました。絶好のハイキング日和となった明るい薄曇りの朝、ユース、ワイズ、職員の約30名が集まり、軽い？ストレッチをした後、元気良くスタートしました。

それぞれ初めてお会いする方が多い中、少し歩き始めるとあちこちで参加者同士のお話が弾み、笑い声が絶えません。途中4ヵ所で休憩や給水を取り、記念撮影も行いながら、ゴールまで完歩しました。今年は山の水量が多く、布引の滝や布引貯水池のダムも見ごたえがありました。

少し休憩のあと、恒例の交流プログラムを楽しみました。参加者はそれぞれYMCAに関わるつわもの揃い。今年も大いに盛り上がりました。最後に、来年の1月に行われるYYYフォーラムでの再会を約束して、完歩証を手に下山しました。

来年もいろんな方をお誘いして、また参加しようと思っています。短くショートカットできるコースも用意されていますので、皆さんも初秋のハイキングをご一緒しませんか？



会員増強委員 こうの 彰さん



2024年度 神戸YMCA 第2回YYYフォーラム

「あれから30年。みつかる。つながる。よくなっていく。」

災害が起きたとき、YMCAは地域の皆さまと共に活動します。災害時に大切にしたいものは何ですか？

- ◆日 時：2025年1月18日(土)10:00～11:45
- ◆会 場：こうべまちづくり会館 3階多目的室
- ◆参加費：無料
- ◆申 込：2025年1月10日(金)締切
- ◆主 催：神戸YMCA会員増強委員会・国際委員会・ミッション委員会
- ◆共 催：ワイズメンズクラブ六甲部



お申込みはこちらから→



YMCA STORY ユースバスケットボールとともに

西宮YMCAユースバスケットボールボランティアリーダー やましろ てつや 山城 哲弥 さん

ユースバスケットボールとおつきあいは、小学生だった息子・娘が西宮YMCAのプログラムに参加してからになりますので、もう30年近くになります。最初は応援席から。そして私もバスケットをやっていたこともあり、練習に参加するようになり、コートへ。さらに娘が高校を卒業してボランティアリーダーとして帰ってくると、私もリーダーに。ときにはベンチを預かり、いまでは審判もさせていただきなど、「お父さんリーダー」としてお手伝いしています。

ユースバスケットボールは、息子・娘を成長させてくれたのはもちろんですが、その時々で関わる子どもたちの成長ぶりに触れることがなよりの喜びです。中学生になり、厳しい環境である本格的な部活動で活躍する子たち、バスケットからは離れたものの、たまに練習をのぞいてくれる子たち。どの子も、たくましく、力強く、そして優しく育っています。こんなうれし

いことはありません。ボランティアリーダーとして帰ってきてくれる子もいて、小学生の後輩たちにいい刺激を与えてくれています。

ユースバスケットボールで、私も人として成長させてもらっていることを、いま改めて実感しています。最初は、勝ち負けが気になり、そのうち、いやいやもっと大切なものがあるということに気付かせてくれ、まさにファイブゴールの精神に収斂します。

「FUN・SKILL・FAIRPLAY・FITNESS・VALUE」。これからも、子どもたちとともに、ユースバスケットボールとともに、大きくなっていきたいと思います。それにしても、学生リーダーたちが順番に卒業していく中、お父さんリーダーに卒業はあるのでしょうか？



2024年度 YMCA 国際協力募金 街頭募金活動

神戸キリスト教青年会 国際委員会において、国際協力募金街頭募金活動を実施することを決定いたしました。

◆日 時：2024年12月8日(日)13:30～15:00

◆場 所：大丸神戸店前

◆窓 口：神戸YMCA国際・奉仕センター
中道(houshi@kobeymca.org)

※ 天候によっては中止する可能性があります。



ワイズコーナー

YMCAとY's

六甲部EMC主査 しまだ ひさし 島田 恒さん
(芦屋クラブ)

私たちがお役に立ちたいと願っているYMCAは、産業革命下にあるロンドンで1844年に誕生したことが知られています。産業革命により多くの国民が豊かになれると期待されていたのですが、現実には資本を持てる者と持たざる者の経済格差は厳しく、職を求めて都市に流れ込む青年層は、過酷な労働と安い賃金にあえぎ、不健全な遊行に時を費やす状況でした。YMCAはイエスの教えに従って、彼らが健全な生活を送れるようにと始められました。

いま世界の環境は大きく変化し、問題が山積している厳しい現実があります。YMCAは、設立当初の精神を堅く保ちつつ、一般の奉仕活動とはひと味異なるミッションに基づいて、現在の課題に真剣に向き合うことが求められています。企業でもなく、行政でもない非営利団体が喫緊の課題に取り組み成果を出すことが、ことさら求められている時代です。Y'sはYMCAの精神と活動に密着して存在感を示し、ワイズメンはこの働きに加わり社会課題にチャレンジすることにつながっていきます。

そのために、時にはYMCAに苦言を含めた積極的提案を行い、仲間と共に貢献の一翼を担うことが、取りも直さず自分の人生の意義を感じることもつながるのではないのでしょうか。

感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同) (前号掲載以降～10/15まで)

寄附	澤井 恵子、黒田 茂生、谷田 豊、鎌方 志郎、原 寛、高田 裕之、兼田 幸子、藤本 恵、香川誠陵中学校1年団、日本ハンドベル連盟 関西支部
子ども奨学金	田中 邦康、川原 真
チャリティーラン	松森 正樹、田代 雅彦、濱瀬 真知子、権藤 みか、尾上 尚司、山本 洋子、森 章一・愛子、石原 美生子、石田 由美子、郡家 学、小林 康男、武田 寿子、多胡 葉子、長尾 亘、福田 宏子、若林 成幸、喜多 邦子、桑野 友子、福原 吉孝、島田 恒、柏原 佳子、上野 恭男、大岩 雅典、坂東 幸子、丹家 元陽、宝塚ワイズメンズクラブ、芦屋ワイズメンズクラブ
能登半島豪雨緊急支援募金	大石 恵理子、江口 かおり、福井 真佐代、南 嘉明、齊藤 靖、中田 杉子、権藤 みか
国際協力募金	小川 光夫、豊田 仁気、神戸学園都市ワイズメンズクラブ、YMCAちとせ幼稚園バザー、西神南センターメンバー有志

この他にも、多数の寄附・募金をいただいております。感謝をもってご報告します。

神戸YMCA 遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。
神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。
大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要なとされる活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

神戸YMCAの願い

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、
日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。
(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ファミリーウェルネスセンター	☎078(241)7202	西神南YMCA	☎078(993)1560	学園都市YMCA保育ルーム	☎078(794)3045
ランゲージセンター	☎078(241)7204	須磨YMCA	☎078(734)0183	ユースプラザKOBE・EAST	☎078(891)8222
専門学校	☎078(241)7203	YMCA保育園	☎078(794)3901	神戸市立太山寺児童館	☎078(794)4790
西宮YMCA	☎0798(35)5987	西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992	こべっこあそびひろば西神中央	☎078(964)5808
余島野外活動センター	☎0879(62)2241	西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011	神戸市立たかとり児童館	☎078(735)6230
キャンピングサービスセンター	☎078(241)7216	神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955	YMCA保育園おひさま分園	☎078(794)4080
国際・奉仕センター	☎078(241)7204	神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542	おやこふらっとひろば西	☎078(939)4530
ウェルネスセンター学園都市	☎078(793)7401	YMCAちとせ保育ルーム	☎078(786)3821	西宮市香櫨園留守家庭児童育成センター	☎0798(33)0214
西神戸YMCA	☎078(793)7402	西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705	西宮市用海留守家庭児童育成センター	☎0798(35)1522
神戸YMCA高等学校	☎078(793)7435	西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016	西宮市浜脇留守家庭児童育成センター	☎0798(34)1444
YMCAおひさま	☎078(793)9077	あかしこども広場	☎078(918)6355		

